自分もみんなも　明るく　うれしく　よかったね
９月号

新井中央小だより

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html　No.252
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　chuou@ac.city.myoko.niigata.jp　２０２０（令和２）年９月２５日

自分が小学生の時以来の嬉しかったこと

８月２７日（木）、２８日（金）の１泊２日、６年生修学旅行の引率で富山、石川県へ行ってきました。出発式の校長挨拶で元気にそろった６年生全員の顔を見たとき、この上ない喜びを感じました。修学旅行に出発できるということで、こんなに嬉しかったのは、自分が小学生の時の修学旅行以来です。振り返れば、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組の中、学校もかつて経験したことのない様々な対応を迫られてきました。特に修学旅行は、計画段階から困難を極めました。旅行先、宿泊地は、どこが可能か？実施時期は、いつがいいのか？保護者の同意は得られるのか？感染状況によっては、直前のキャンセルも想定しなければならない。キャンセル料については、どう対応するのか？・・・等々。難題山積でした。

でも、学校長のわたしとしては、なんとしてでも修学旅行は、行かせてやりたかった。小学校最後の年にいろいろなことが中止になったり変更になったりしています。そんな中でも、日々、前向きに一生懸命頑張っている６年生に修学旅行の学びと思い出をプレゼントしたかった。だからといって、わたしの思いだけで、大切な子どもたちを感染のリスクにさらすわけには、いきません。出発直前まで、旅行先の感染状況把握、分析、そして、それに応じた感染対策の追加作業等に追われました。正に関わる方々の総力を結集して出発までこぎつけました。ご理解、ご協力いただきましたＰＴＡ学年部役員を始めとして保護者及び関係のみなさまに感謝しております。

さて、２日間、とてもいい修学旅行となりました。まず、６年生の頑張り。感染防止の取組をしっかり行い、しっかり学んでいました。そして、十分楽しみ、それぞれ、いい思い出ができたことと思います。一緒にいて、楽しく、快く過ごせるとてもいい子どもたちだなーと改めてこの子たちのよさを実感しました。そして、養護教諭が、「こんなに何もなかった修学旅行は初めてです。」と言うほど、だれも体調を崩さず、元気に過ごした２日間でした。本人、各家庭、健康管理をしっかりしてきた成果だと思います。見学先の各施設も、感染防止策がとても徹底していて安心できました。一度流行した地域だからこその徹底ぶりだと感じました。修学旅行後、経過観察期間の２週間が過ぎました。これで、安心して報告ができます。「無事に修学旅行を実施できました。」

最後にお詫びとお願いをさせてください。９月１日付けで保護者宛てに配付しました「マラソン大会の廃止について」の文書に関わってです。保護者のみなさまにとって、計画的な説明でなく、唐突なお知らせとお願いになってしまったことをまず、お詫びいたします。ご異論のある方もおられると思い、お問い合わせがあれば、お話をよく伺い、必要な説明もさせていただこうと考えておりました。次の日から、電話がジャンジャン鳴ることも覚悟していました。電話による問い合わせは、「６年生は最後だから６年生だけでも実施できないのか？」という低学年保護者の方からの１件だけでした。他に１通（全く同じ手紙が２回届いたので正確には２通）匿名の手紙を受け取りました。「職員各位」宛だったので、職員とも共有しました。ただ手紙で匿名なので、お話を伺って必要な説明もできず、困っております。お電話いただければありがたいです。以上、お詫びとお願いです。

ウイズコロナの新しい生活様式の中、子どもたちは、本当によく頑張っています。これからも新井中央小学校の子どもたちへの応援をよろしくお願いします。

校長　加藤　晃